

20-2 接着と塗装研究会

「CNF技術の最新動向」

<趣旨>地球上に最も豊富に存在するセルロースに関し、セルロースナノファイバー(CNF)をはじめとするナノセルロースの高性能・高機能材料への応用と産業化が活発に検討されています。CNFは、鉄の5倍の強度、重量は5分の1という機能を有し、さらに低線膨張係数、大比表面積、良ガスバリア性、特異な粘性と言った特性を併せ持つため、様々な素材の特性を向上させることが期待されています。接着や塗料への展開も検討されており、今後CNFを用いた製品・部品の市場導入、社会実装化が急速に進むものと予想されます。

本年度第一回目の本研究会では、CNFに関わる各原料の種類・特徴・応用について、この分野で活躍されている講師の方々にご紹介いただきます。CNFの特性を把握して頂き、さらなる研究開発や応用展開へのヒントが出てくれば非常に嬉しく思います。多くの皆様のご参加を期待いたします。

主 催 高分子学会 接着と塗装研究会
日 時 1月22日(金) 13:30~16:50
会 場 オンライン

プログラム

<13:30~14:30>

1. セルロースナノファイバーと高分子との複合化 (東京大学大学院) 磯貝 明
再生産可能な植物バイオマスから調製されるセルロースナノファイバーの基本構造、基本特性を紹介するとともに、高分子との複合化プロセスと複合材料の機能について最近の研究動向と課題について紹介する。

<14:40~15:40>

2. CNFの新たな機能価値創出に向けた取り組み (花王) 西村 哲
花王では自社の強みである界面制御技術を活用し、サステナブル高機能素材であるCNFの新たな機能価値の創出を目指し、研究を進めている。本講演ではCNF界面制御技術の開発経緯および、得られた改質CNFを活用した樹脂ナノコンポジットの諸物性について紹介する。

<15:50~16:50>

3. 物理解織CNFの製造方法/特徴/用途開発 (中越パルプ工業) 田中 裕之
中越パルプ工業は1998年より国産竹由来のパルプ製造を、2009年よりCNFの研究開発を開始した。弱いエネルギーによる微細化法である「水中対向衝突法」を採用した「両親媒性」のCNFを製造する。ユニークなCNFの特徴や用途を紹介する。

参加要領

- 1) 定員 100名
- 2) 参加費 ①企業 3,300円 ②大学・官公庁 2,200円 ③学生 1,100円
④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シニア会員 1,100円 (接着と塗装研究会メンバー 無料)
- 3) 申込方法 高分子学会ホームページ (<https://member.spsj.or.jp/event/>) からお申込みください。
参加費は、1月末日までにお振込みをお願いいたします。
- 4) 振込先 銀行振込<三菱UFJ銀行 銀座支店(普通) 1126232 名義 高分子学会>
郵便振替<00110-6-111688 名義 高分子学会>
振込手数料は振込人にてご負担下さいますようお願いいたします。
銀行・郵便振替の領収書をもって本会からの領収書にかえさせていただきます。
- 5) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

問 合 先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル
高分子学会 20-2 接着と塗装研究会係
TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737



行事参加申込 QR コード
<https://member.spsj.or.jp/event/>